

平成20年度 府中市防災会議地震部会 会議録（要旨）

- 1 開催日時 平成20年7月14日（月）午後2時～午後3時
- 2 開催場所 府中市役所北庁舎3階第1会議室
- 3 出席委員 鈴木昭部会長 林田信彦副部会長 加藤俊之副部会長
中村久吉副部会長 東英彦委員 佐野賢太郎委員
塩山和成委員 森和寿委員 萩原哲男委員 大山和男委員
金森泰委員 高橋秀夫委員 皆川亨委員 野岡富昭委員
関根昌一委員 島崎和男委員 石川伊知郎委員 田口一義委員
古沢和夫委員 三ヶ尻秀男委員
- 4 代理出席 東京都北多摩南部建設事務所補修課工務係長 計画課主査
土木課主査
- 5 欠席委員 豊田収委員 佐伯正委員
- 6 事務局 阿部防災課長補佐（兼）災害対策係長 長谷川事務職員
- 7 議 事
 - (1) 審議事項
平成20年度府中市総合防災訓練について
 - (2) 報告事項
ア 府中市職員初動マニュアルについて
イ 平成20年度災害対策主要事業について
- 8 公開・非公開の別
公開（傍聴者の数 0人）

《会議内容（要旨）》

阿部補佐 大変お待たせしました。定刻となりましたので、ただ今より府中市防災会議地震部会を開催させていただきます。

まずはじめに、本会議の部会長であります鈴木環境安全部長より、ごあいさつを申し上げます。部会長よろしく申し上げます。

鈴木部会長 本日は、お忙しいところ本年度の府中市防災会議地震部会にご出席いただきまして、ありがとうございます。

府中市環境安全部長の鈴木でございます。よろしく願いいたします。

本地震部会は、府中市防災会議条例に基づき防災会議の命を受け、審議事項になっております本年度の「総合防災訓練」について、ご審議いただくことになっておりますので、よろしく願いいたします。

さて、本年5月12日に中国で発生した四川大地震及び6月14日に発生した岩手・宮城内陸地震では、それぞれ大きな被害をもたらしました。

今回の岩手・宮城内陸地震の被災地となった箇所は、今後30年以内に震度6弱以上の地震が発生する確率は0.1～3%と予想されておりました。このこ

とは、まさに地震はいつどこで発生しても不思議ではないことを示しているといえます。

自然災害の発生を防ぐことはできませんが、備えることにより被害を抑えることは可能です。このような状況を踏まえ、本年度の総合防災訓練も、防災機関相互における協力連携訓練の充実を図るため、地震発生に対応した「発災対応型防災訓練」並びに市民が主体となった「自助・共助」を基本とした実践的な「避難所運営訓練」を実施する予定であります。

日頃より、防災機関が有する全機能を有効に発揮して、災害の予防に心がけていただくとともに、いざ災害が発生した場合における迅速な応急対策や、復旧活動などの体制を充実していくことで、災害から市民の生命、財産を守り、「災害に強いまちづくり」につながるものと考えております。どうか、皆様方におかれましては、なお一層のお力添えを賜りますようお願い申しあげまして、ご挨拶とさせていただきます。

阿部補佐 引き続きまして、人事異動等により委員の交代がございましたので、ここで新たに専門委員に委嘱させていただきました方をご紹介します。お名前をお呼びいたしますので、誠に恐縮ですがご起立ねがいます。

(新委員を紹介)

阿部補佐 以上、新委員をご紹介します。

それでは、これより議事に移らせていただきます。部会長よろしくお願ひします。

鈴木部会長 それでは、府中市防災会議地震部会運営要綱第3条に基づき、議事につきましては部会長であります私が行うこととなっておりますので、皆様のご協力によりスムーズに会議を進めたいと思います。よろしくお願ひ申しあげます。

議事の(1)審議事項の「平成20年度府中市総合防災訓練について」を議題といたします。事務局、説明ねがいます。

(事務局、資料-1に基づき説明)

鈴木部会長 以上で説明が終わりました。何かご意見ご質問はございますか。

(質疑なし)

鈴木部会長 質問等がないようですので、お諮りいたします。「平成20年度府中市総合防災訓練について」ご異議ございませんでしょうか。

(異議無しの声)

鈴木部会長 ないようですので、「平成20年度府中市総合防災訓練について」

は承認されました。つづきまして議事の（２）の報告事項アの「府中市職員初動マニュアルについて」事務局、説明ねがいます。

（事務局、資料－２に基づき説明）

鈴木部会長 以上で説明が終わりました。何かご意見ご質問はございますか。

（質疑なし）

鈴木部会長 ないようですので、つづきまして、報告事項イの「平成２０年度災害対策主要事業について」事務局、説明ねがいます。

（事務局、資料－３に基づき説明）

鈴木部会長 以上で説明が終わりました。何かご意見ご質問はございますか。

（質疑なし）

鈴木部会長 ないようですので、議事の４「その他」ですが、事務局の方で何かありますか。

阿部補佐 本日、ご出席いただいております府中警察署警備課長林田様と府中消防署警防課長加藤様より、活動状況等について、お話を承りたいと存じます。

鈴木部会長 始めに、府中警察署警備課長林田様、よろしくお願ひいたします。

林田副会長 今年の４月から、くらやみ祭りや洞爺湖サミットなどの警備が続きましたが、これらもようやく終了したところです。

府中警察署の体制ですが、３５８名の警備要員が全員参集するには約半日が必要となると予想されています。また、通常時の夜間及び早朝に勤務しているのは、約６０～７０名となっています。これらから判断すると、大規模災害の発災直後に即行動することは難しいことが予想され、やはり住民による自助・共助が重要であると考えています。また、災害時の初期対応のポイントは、①迅速な情報収集②迅速な職員の参集③迅速な部隊の導入の３点であると考えています。

また、災害時要援護者対策ですが、平成１９年８月時点のデータでは府中署管内で７０歳以上の人口は３０，０００人以上となっております。通常時は交番の警察官による巡回連絡を行っています。

これからの訓練の予定ですが、警視庁は９月１日に総合防災訓練を予定しています。また、サミットにより実施が延期となっていた参集訓練を異動後の９月中に実施する予定となっています。

鈴木部会長 ありがとうございます。何かご質問等ございますか。

（質疑なし）

鈴木部会長 質問等がないようですので、続きまして、府中消防署警防課長加藤様、よろしくお願いいたします。

加藤副部長 現在府中消防署には250名の署員が在籍しています。そして、今年度も8月31日に開催予定の府中市総合防災訓練への参加に向けて計画を立てている状況です。

最近の府中消防署についてですが、平成22年6月に新庁舎完成の予定となっています。また、普通救命講習の受講者数は現在都内で最多となっており、さらに力を入れたいと考えています。さらに、平成22年4月の住宅用火災警報器の設置義務化に向けて、さらなる啓発を進めていきたいと考えています。

引き続き、本日までの府中市内の災害発生状況等は、生活安全担当係長の佐野より説明を行います。

佐野委員 平成20年7月13日時点で前年度と比較しますと、府中市内では火災件数、焼損面積、死者数ともに昨年度より減少しています。

また、府中消防署は震災時の活動態勢として、震災配備態勢と震災非常配備態勢の2種類によって対応します。参集訓練の結果、府中消防署は約3時間で全職員が参集完了となります。

また、府中消防署では本年度東京都の重点事業として、地域力向上方策のモデル署に指定されました。これに伴い、モデル地区として西原町一丁目から四丁目、北山町一丁目から四丁目を指定し、既に6月22日には防災マップづくり、7月7日に要援護者対策ワークショップづくりの講習会を実施しました。今後もモデル地域を中心とした防災訓練など、積極的に取り組んでいきたいと考えています。

鈴木部会長 ありがとうございます。何かご質問等ございますか。

(質疑なし)

鈴木部会長 質問等がないようですので、他に事務局より何かありますか。

阿部補佐 ございません。

鈴木部会長 それでは、以上をもちまして本会議の議事は全て終了いたしました。なお、本日ご審議・ご了承いただきました事項につきましては、7月17日に開催いたします防災会議に報告いたします。

長時間にわたりご審議いただき、誠にありがとうございました。